

栃木言友会会報

交流会報告 No. 213

2020年11月1日

発行責任者：古川 元一

編集責任者：古川 元一

TEL:090-3138-1507

【目次】

表紙	「M島(H島県)」	KMP1
巻頭言	S言友会	MNP2
近況報告	栃木言友会の皆さん	P3~6
次回交流会案内		FKP7



この栃木言友会会報は、赤い羽根共同募金会の助成金により発行しています。

栃木言友会は皆さんが自主的に主体的、

楽しく活動できるセルフ・ヘルプ・グループです

巻頭言

新しい生活様式の中で

S 言友会 M N

毎日、日本全国でK者の情報やK症予防に関するニュースが放送されています。3月、4月はKウイルスの流行を悲観的に捉え、自粛モードに気持ちが沈んでいた私ですが最近思うことがあります。新しい生活様式を始めたからこそ生まれた楽しみ方や時間の使い方があるということです。

マスクやフェイスシールドの装着が日常になりましたが、それらの新商品が店頭の数多く置かれ、お洒落アイテムとして注目されています。レジと客の接触を避ける透明カバーに絵を描き、おもてなしとして楽しんでもらう新しい取り組みや、一定料金を支払えばホテルまで数百 km の距離をバスで迎えに来てくれるサービスも始まっています。

私の職場では毎朝健康チェックがあり、熱や風邪の症状に1つでもあてはまる項目がある場合自宅待機になるのですが、仕事に穴を空けたくない思いが強いためか3月から一度も風邪等の症状が出なくなりました。体の弱さに悩んでいた私にとっては非常に大きな変化です。

私事ですが、N県の旅行雑誌を最近購入したことで、地元の良さを再確認しているところでもあります。

そんな風に考え始めると、今の状況も悪くないと思えてきます。対面で会うことが難しくなった今だからこそ、今までお世話になってきた方々の存在をより一層尊く感じ、感謝の思いを伝えたい今日この頃でもあります。

また皆さんにお会いできる日まで、今この時を、新しい生活様式を、もう少し楽しんでもみようと思います。

場所：とちぎ福祉プラザ 403会議室

時間：14:00～16:30

交流会Ⅰ 担当：T

交流会Ⅱ 担当：S

参加者：FT、S、T、F（電話参加 15:20～）、古川

（敬称略）合計5名

感染症対策の為、入口の扉を開放して、窓を開け、マスクと消毒液を置いて開催しました

1. 近況報告3分間スピーチ（日本・日本人について思うこと）

S：O市から来ましたSです。前は急用でHに行っていて、参加できなかったことを残念に思います。ですが、O駅もS駅もT新幹線も、JRのK対策がしっかりしていることが分かり、よかったです。どちらの駅でも全員がマスク着用で、大声で話す人も皆無でした。もちろん新幹線の中では、全員がマスク着用。

また新幹線車内放送で、「車内は6～7分ごとに自動的に換気されています。」とあり、アテンダントさんが巡回販売の合間に、洗面所やドアなどの消毒を小まめに実施していました。なので、新幹線に乗って出かけるのは安全・安心と確信しました。

3ヶ月程なかなか治らない汗もも、2週間程Hにいたお陰様で、かゆみもとれ、だいぶよくなりました。そして、O近郊では買えない、百年以上前からある汗もの葉一桃の葉の葉を、SのK駅そばのI Y堂の中にある薬局で買うことができ、ラッキーです。

日本・日本人については、日本人は、巧み、匠の技が素晴らしいこと、オタクとしての集中力や根気強さや粘りがあること、道を極めようと一生懸命努力する人が多いということが、誇らしいと思います。そしてまた、小学校6年卒業までには、日常、大人が使う漢字のほとんどと、平仮名・片仮名・ローマ字の読み書きを覚え、簡単な日常会話の英語や簡単な単語の発音や意味まで習うことができ、戦後の633制の学校を出た人に文盲が、限りなく0に近いということは、世界中、どこの国を探してもないことだと思います。いくら勉強が苦手でも、ほとんど勉強をしない子供でも、知的障害を持つ子供でも、小学校6年卒業までには、平仮名の読み書きは皆できるようになります。なので、ふりがながあってあれば、お経のような難しい本であっても読むことができます。読み書き障害がある子供も、ことばの教室に通って指導を受けることにより、その子ならではの学習法で、平仮名五十音くらいは書けるようになります。漢字も工夫で学習できるようになります。そういう意味でも、日本は天国のような国であると思います。

それと、他国に比べて、B型ウィルスに感染する人数も死ぬ人数も少ないということ。これは戦前に日本の教育を受け、日本に感謝しているTと共に、世界一だと思えます。この陰には、数多くの医療従事者や介護従事者の昼夜問わずの献身的な仕事ぶりが反映されています。

T : I 言友会主催のオンライン全国大会に、マイメッセージを聞くのだけ参加しました。皆さんのメッセージ素晴らしかったです。SOさんのメッセージが特に印象に残りました。

中学時代の社会科のライバルに町内のガソリンスタンドでばったり会いました。彼も私同様社会科は学年でトップクラスでしたが、それ以外は？でした。大きな農家の長男ですが、子供が医者になっていると本人から聞いて噂は本当と知り少し驚きました。お金はだいぶかかったそうですが、旧交を温めました。

秋本番になり我が家でも、栗 柿 が豊作で、サツマイモも収穫しました。サツマイモの出来は去年よりは良いですが今一つです。妻は自ら収穫していました。副題の日本・日本人について思うことは。日本人のルーツは何処かなと思います。赤ちゃんなどのお尻にはK斑があるのでMあたりかなと思ったり、T半島から来たという説もあります。

資源の少ない日本は工業系の技術を磨いてきたというのは事実だと思います。近年Tがコピー大国から良いものを作るようになったそうです。しかし鉄道や新幹線関係はまだまだ日本の上位は揺るがないと思います。

古川 : 栃木市の古川元一です。今朝、家庭菜園をされている先輩から黒豆の枝豆を頂き、交流会来る前に豆を枝から取り、ざるに入れてきました。帰宅したら、自然の恵みを満喫しながら食べたいです。2週間前にも普通の枝豆を頂くなど、いつも持って来てくれるので感謝しております。

御礼ではないのですが今、海外ではハロウィンのお祭り時期なのでチョコレートを持って行きましたら、大変喜んで下さいました。

9月に民放テレビで放映された「君のSを食べたい」を見て興味が有り、原作を読みたいと思い書店に行ったところ数年前から販売しているようなので、Bオフにて探しましたら売っており、定格より安く購入出来ラッキーです。

テレビと違った内容が多く書いており面白かったです。

先日お風呂に入り、お湯を足して止めてもボイラーの燃焼が止まらないので、入浴後見て見ましたら配管からお湯が漏れており、設置してくれたお店に連絡し、翌日の午前中に修理してもらい良かったです。

副題の日本についてです。日本の国旗ですが、1900年代頃各国が国旗の設定をし始めた事、海外のある国が日の丸を国旗として登録をしたいと我が国に打診があったそうですが、日本ではかなり前から扇子などに日の丸を表示して使用していたことなどを揚げ、日本の国旗として登録すると断ったとの話を聞いた事があります。

F K : I 言友会の吃音WSに参加しました。オンライン開催で、入室時に手間取りましたが、プログラム開始10分前に入れました。オンライン上に参加者が集まり、2日間で3つの講演を聴きました。K厚生病院のM先生、A荘南E病院のO先生、K大学のK先生の講演で勉強になりました。170人位が画面越しに聴いていました。

2日目は分科会「当事者のつどい」に参加し、20名で話合いました。当事者の主張はうったえる力がありました。内容は口外してはいけないうので割愛しますが、気持ち解放されたようになりました。私の方でマイク音声が入らず、直そうとしていたら内容が半分位しか頭に入りませんでした。最後はマイクも使えました。進行も大変円滑で、あっという間に時間が過ぎました。皆様と画面越しに会えて、言友会の強い繋がりを感しました。

日本・日本人に付いて思うこと。災害への対応が迅速で人命第一の国です。日本製品は洋服でも電化製品も性能が良く、海外製品と比べると長持ちします。あと、思いやりがあり、海外では知らない人のために余り募金はしないと聞きましたが、日本で募金があるとすぐに集まっていると思います。

4. 感 想

F T : 晴れてさわやかな空気が入って来た中での交流会でした。

『～傾聴～電話を使って』では、Fさんが1時間位電話参加をしてくださいました。2人ペアになり、5分間電話で話して、Fさんのワンコ(犬)ちゃんの事、会報を読んでいる事など傾聴しました。私は衣替えの話をしました。自分が話し始めた時5分も話せるかなと思いましたが、段々と調子が出てきました。最後のシェアリングもとても良かったです。

交流会に参加すると吃音の話も聞け、それ以外の皆様の話も聞けるのが楽しいです！

綱川：人数は少なかったですが、今回も中身の濃い交流会でした。カウンセリングは興味はありました。言友会に入る前にもグループカウンセリングに入っていましたし、それ以前も心理療法の自助団体に入っていました。

栃木吃音改善研究会で自分を褒めるという項目、自分の生活で普段のルーティンでしてしまいがちですが、自分のしてきたことが結構な負荷が掛かっていたりして、自分を見直すきっかけにもなって頂けたらと思います。

私は家で置かれている位置が、本業と農業と負荷が多すぎることを感じ、農地を楽しく楽に？活用しよう思います。

古川：本日の交流会秋晴れの良い天候の中、とちぎ福祉プラザに来て下さった事に感謝します。

研究会、呼吸法はSさんのご指導、抑制法と自己紹介に1分間スピーチはTさんのご指導で充実した時間が過ごせて感謝します。

Sさんの電話によりカウンセリング、電話をかけるのに緊張するかと思っておりましたが、Sさんの優しいご指導により普段の通りの感じで会話でき、ありがとうございました。Sさんの企画とても良かったです。感謝します。

本日の交流会も皆様に盛り上げて下さった事で充実した時間が過ごせたことに感謝します。ありがとうございました。

S：浮世絵のような素敵な空のもと、四階の素晴らしい会議室で、空気の流れ替えも十分に行いながら、素晴らしい交流会に参加できたこと。有難うございます。感謝します。ついでいます。

次回交流会は11月29日(日) 14時00分より交流会を開催します 会場はとちぎ福祉プラザ会議室です

マスクの着用されての交流会ご参加をお願いします。

11月交流会はFさんが担当です。Fさんよりメッセージです。

「紹介したい物、本やお気に入りの物があれば持参して頂きたいです。携帯や手帳など普段身につけている物でも構いません。」

栃木言友会会費納入先、お近くの郵便局から

郵便局口座番号 00190-1-760304 口座名称 栃木言友会

1月24日(第4日曜日 403会議室) 2月28日(第4日曜日 和室)

次回交流会のお知らせ

日時・開催場所：11月29日（日）とちぎ福祉プラザ 301会議室
14時00分～16時30分 栃木言友会交流会
〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 TEL028-621-2940
1階の案内は栃木言友会交流会になっています

交流会内容：近況報告 「あなたの『〇〇の秋』は何？」

交流会Ⅰ：「吃音改善研究会」 担当：T

交流会Ⅱ：『スピーチ練習』 担当：F

連絡先 〒329-4425 栃木県栃木市大平町新 1385-33 古川元一
携帯 090-3138-1507 E-mail:genyut@mocha.ocn.ne.jp
栃木言友会ホームページ <http://tochigi.sakkt.net/index.html>